

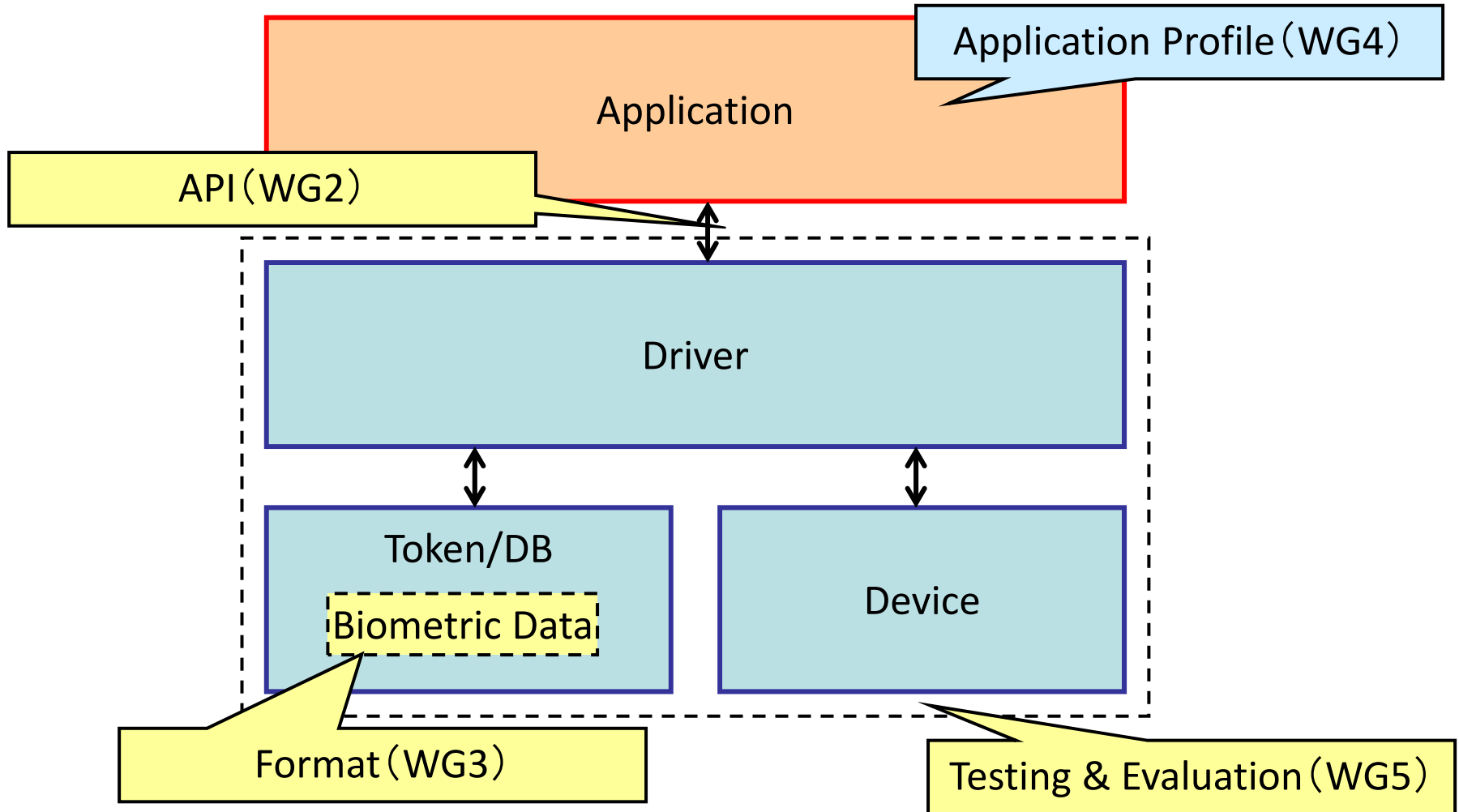
SC37 WG4の標準化活動の
状況について
- 京都会議報告 -

2011年9月20日
SC37WG4国内小委員会
瀬戸

SC37 WG4の概要

- Biometric Functional Architecture and Related Profiles
 - バイオメトリック機能アーキテクチャと関連プロファイル
 - 委任事項: バイオメトリックスの機能アーキテクチャと関連プロファイルの開発。これらのプロファイルは、基本となる標準化された技術要素を明確にし、相互運用性を達成するために、パラメータの設定方法とどの運用フィールドに使われるべきかを定義する。
- 体制
 - 国際主査: Micheal D.Hogan(USA NIST)

WG4の位置づけ



WG4の定めるプロフィールとは

- 対象とするアプリケーションにおいて、SC37の定める標準規格であるAPI(WG2)およびフォーマット(WG3)の実装方法を定めるもの
 - WG2テーマ: インタフェース
 - ISO/IEC 19784-1:BioAPI Specification
 - ISO/IEC 19785-1:Common Biometric Exchange Framework(CBEFF)
 - WG3テーマ: データフォーマット
 - ISO/IEC 19794: Biometric Data Interchange Format

プロジェクトの構成

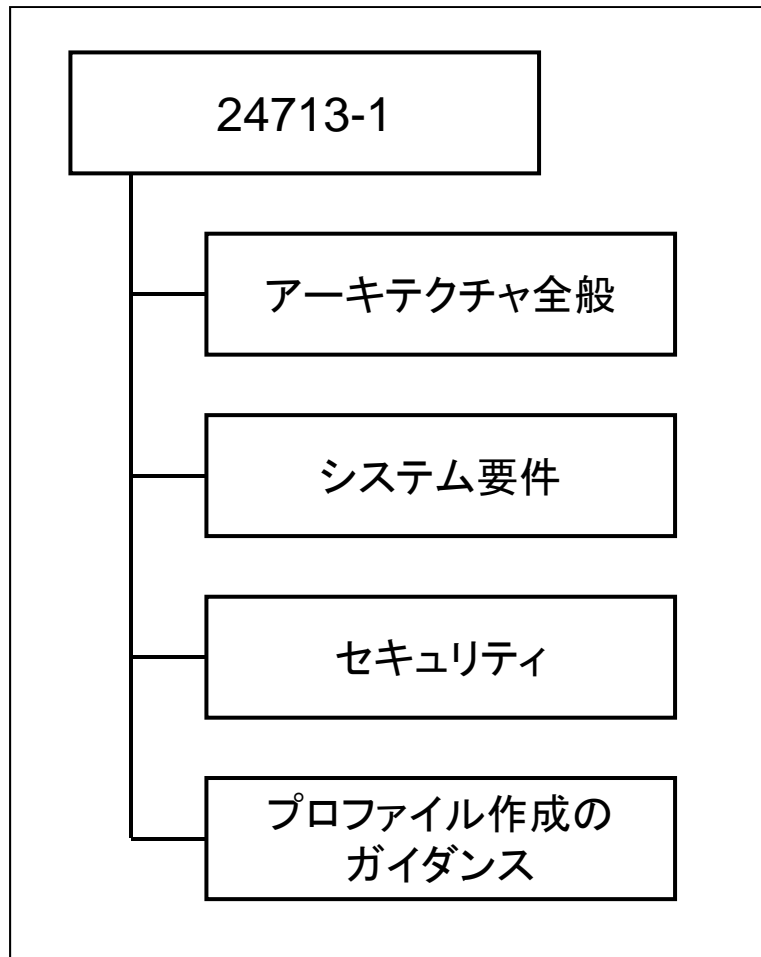
■ 24713シリーズとして、プロファイルをマルチパート化

24713	Biometric Profiles for Interoperability and Data Interchange (相互運用性とデータ交換の為のプロファイル)
ISO/IEC 24713-1:2008	Part1: Overview of Biometric Systems and Biometric Profiles (バイオメトリックシステムとプロファイルの概要)
ISO/IEC 24713-2:2008	Part2: Physical Access Control for Employees at Airport (空港従業員のゲート制御のプロファイル)
ISO/IEC 24713-3:2009	Part3: Biometric Based Verification and Identification of Seafarers (バイオメトリクスに基づく船員認証プロファイル)

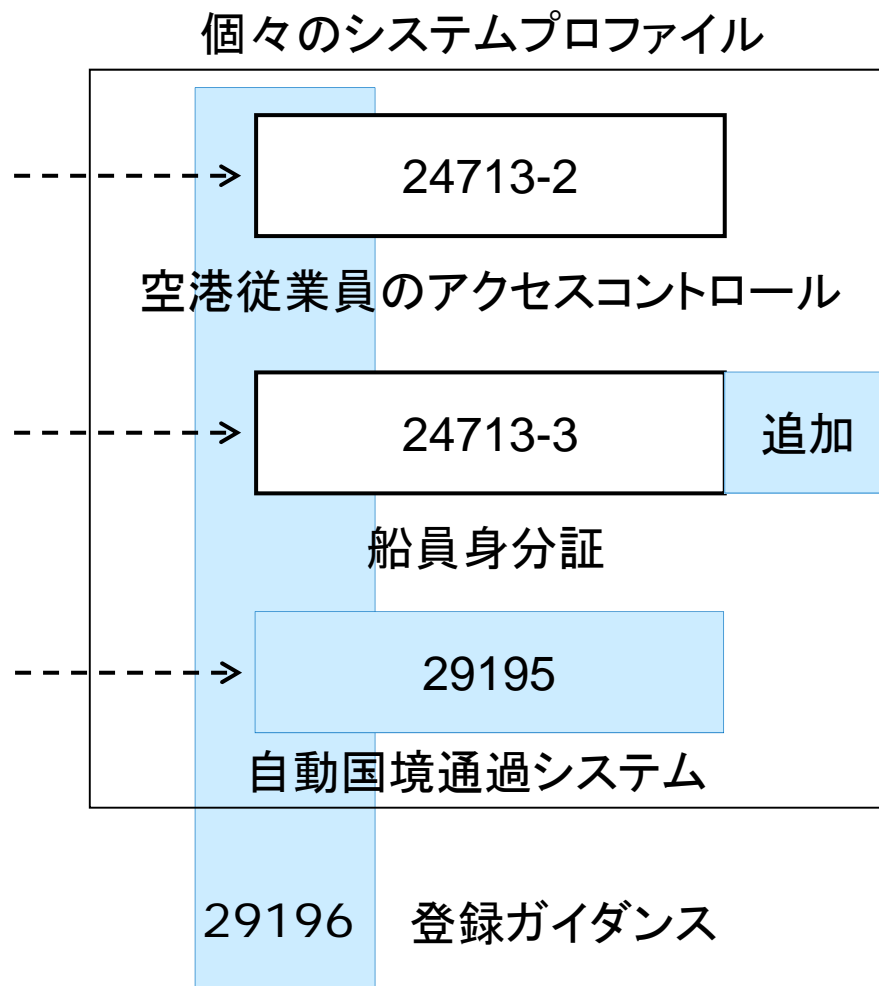
■ 新しい開発案件

29195	Technical Report on “Passenger Processes for Biometric Recognition in Automated Border Crossing Systems” (自動国境通過システムにおけるバイオメトリック認証による旅客処理)
29196	Technical Report of Guidance for Biometric Enrollment (バイオメトリック登録ガイダンス)
追加標準 24713-3	24713-3 to Define a LDS for a Chip-enabled SID (ICカードタイプのバイオメトリクスに基づく船員認証プロファイル)

各パートの関係



共通アーキテクチャ



京都会議の内容

- 開催日： 7月7日 9:00-18:00
- 場所： 京都リサーチパーク ルーム2B
- 参加者： 米国(5名)、UK(5名)、ドイツ(4名)、タイ(3名)、ニュージーランド(2名)、オーストラリア(1名)、韓国(1名)、日本(瀬戸、吉福)、計24名+アルファ)
- 議題：
 - ・SD 14-4, WG 4 Roadmapの審議
 - ・3rd Working Draft TR 29195, Technical Report on Passenger Processes for Biometric Recognition in Automated Border Crossing Systemsの審議
 - ・3rd Working Draft TR 29196, Technical Report on Guidance for Biometric Enrolmentの審議
 - ・UK よりWG 4 and CEN/TC 224/WG 18 (Interoperability of biometric recorded data)とWG4とのリエゾン提案
 - ・UKよりPAS 92:2011 - Code of practice for the implementation of a biometric systemの紹介

京都会議の内容

1. WG 4 Roadmap SD 14-4の見直し

基本的にはコンビナーよりロードマップはWG4における活動内容の概要であり、第三者にもわかり易い文書になっていると思うという発言あり。

- ・Figure 1 — Components of General Biometric Systemを更新した。

2. 国境の自動化ゲートにおける旅客処理のTR (SC 37 N4288, 3rd Working Draft TR 29195, Technical Report on Passenger Processes for Biometric Recognition in Automated Border Crossing Systems) の審議

コエディタのKaren Couttsがとりまとめた。エディタのMark Tesorieroは欠席。

各国の意見の概要は下記のとおり。

- ・DE1: ヨーロッパ標準化委員会 (CEN: European Committee for Standardization) で策定された CEN文書をISO文書で使用又は参照したいとのコメントだが、規則上それができるかわからない。CENとISOの間には合意事項があるので確認する。(Lisa)
- ・4th WDに向け以下に関し各国の貢献を求められた。

京都会議の内容

3. バイオメトリック登録のガイダンスに関するTR(SC 37 N4334, 3rd Working Draft TR 29196, Technical Report on Guidance for Biometric Enrolment)の審議。

各国の意見は次のとおり。editorのMarek Rejman-GreeneよりNBのコメントはacceptしたという意見あり。

- ・GB1/2/3/4: これらの用語の定義に関して、WG4で議論するよりは、WG1にコメントを求めることにする。(GB)
- ・JP1: 日本から静脈関係の寄書を出した。
- ・次のステップとして3rd WDをPDTRに進めたい。(Editor)
 - ⇒PDTRに進めるのはいいが、これらのコメントをドキュメントに挿入した時にきちんと纏まった文章になるか心配だ。(US)
 - ⇒PDTRか4thWDのどちらに進めるべきか各NBの意見を聞きたい。(Convener)
- ・4thWD: 4カ国(まだ議論が必要なところがあり、日本はWDに賛成)
PDTR: 3カ国 棄権: 1カ国 採決の結果4thWDに進めることにした。
4th WDに向け以下に関し各国の貢献を求められた。

リエゾン メンバ

Name	Position
Mark Tesoriero	Editor for 29195, Technical Report on Traveler Processes for Biometric Recognition in Automated Border Crossing Systems
Karen Coutts	Co-Editor for 29195, Technical Report on Traveler Processes for Biometric Recognition in Automated Border Crossing Systems
Marek Rejman-Greene	Editor for 29196, Technical Report on Guidance for Biometric Enrolment
Cathy Tilton	Co-Editor for 29196, Technical Report on Guidance for Biometric Enrolment
Mike Hogan	WG 4 Roadmap
Derek Northrope	WG 4 Liaison Officer to WG 1